

広報あびこ

NO. 85

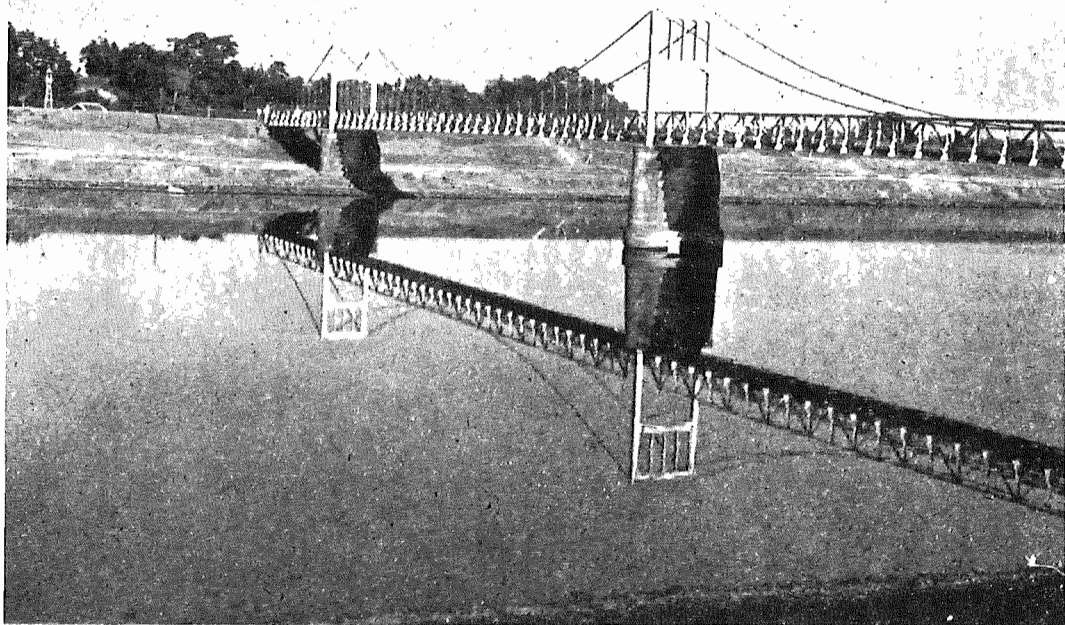
36. 4. 1号

千葉県我孫子町役場

TEL. (あびこ) 4 2

毎月1日 16日 発行 1部 2円

昭和34年7月30日 第三種郵便物認可



利根の流れに影おとす栄橋

一 目 次

- 昭和36年度施政方針と予算のあらまし...2~6
- 生活改善クラブをつくりましょう.....7
- 金庫制度を採用.....7
- 緑の羽根基金に協力を...7
- 野鳥保護の布佐小児童会に感謝状.....7
- お知らせの欄.....8

広 報 あ び こ

(2)



【施政方針演説をする宮本町長】

内容は、三役、一般職員の給与、恩給共済関係諸費三千八百三十七万

4,648,300円	3.05%
44,808,900	29.40
5,708,900	3.75
34,955,900	22.94
20,439,900	13.41
8,487,000	5.57
4,963,400	3.26
10,723,900	7.04
12,104,600	7.94
5,544,900	3.64
152,385,700	100

次に、各款にわたりの内容の大綱を申し上げます。総額四百六十四万八千三百四十四円、構成率は三・〇五%となっております。内容はほとんどが議員、職員に要する経費で、他は議会活動に必要な諸経費が計上されております。

昭和36年度 施政方針と予算のあらまし

一般会計は152,385,700円

重点施策

道路網の整備拡充を図る

「都市計画事業の推進」

最初に昭和三十六年度一般会計の編成方針についてご説明申し上げます。まず、概出予算の概要から逐次申し上げます。最初、本年度予算編成にあたり、その骨格となるべき方針について大略を申し述べてみます。歳出は入るを削って出するを制する財政理念と、地域社会における諸般の情勢をじゅうぶん思考し、かつ住民の福祉増進を旨とし、一般消費的経費は極力節減し、投資的経費あるいは住民サービス

最初に昭和三十六年度一般会計の編成方針についてご説明申し上げます。まず、概出予算の概要から逐次申し上げます。最初、本年度予算編成にあたり、その骨格となるべき方針について大略を申し述べてみます。歳出は入るを削って出するを制する財政理念と、地域社会における諸般の情勢をじゅうぶん思考し、かつ住民の福祉増進を旨とし、一般消費的経費は極力節減し、投資的経費あるいは住民サービス

役場・布佐支所を増設

品位向上 職員研修の徹底

次に、各款にわたりの内容の大綱を申し上げます。総額四百六十四万八千三百四十四円、構成率は三・〇五%となっております。内容はほとんどが議員、職員に要する経費で、他は議会活動に必要な諸経費が計上されております。

常備消防設置を検討

貯水槽新設は11箇

総額は五百七十万八千九百円です。消防団費としては、団員に要する経費および経常維持費を計上するとともに、可搬動力ポンプ二台およびホース等の購入として八十一万円計上し、警備費においては、火の見櫓新設一基および貯水槽新設十一カ所分百万円を計上したほか、消防力充実を期するため若干の経費を計上してまいります。水防費としては年一回程度の水防演習および水防経費を計上いたしてまいります。

東我孫子、柴崎線など二路線新設 改良新設、7路線を舗装、6路線に側溝敷設 ほか一線

土木費 総額は三千四百九十五万五千九百円であり、その構成歩合は二・九四%となつております。

内容は、道路橋りょう費において千三百三十九万九千円を計上し、一般道路維持修繕費においては悪道路の解消を方針としてそれらの経費を計上してございます。なお、道路改良費においては道路の新設、改良工事およびU字溝敷設工事を重点的に取り上げ、新設工事としては農工研究所裏から職員六メートル、延長約百メートルの農道を新設し、改良工事としてはみどり製作所前から約五百メートルの幅幅と曲線の解消を行なうべく措置しており、U字溝敷設工事としては六カ所約千六百メートルです。

青山三号線 六百円
下ヶ戸六号線 三百円
岡窪五十八号線 三百円
古戸十一号線 二百円
布佐本線一号线 三百円
布佐中町八十四号線 三百円

の工事を取り上げており、流末処理としては我孫子駅前から久寺家道路まで、四小前、日立精機通門前から飯塚住宅の途中まで、中一ヶ所二号線、中里中通りでの一ヶ所二号線の工事請負費を計上いたしております。また、失業対策事業費においては六百七十七万七千円を計上し、事業内容としては路面舗装を重点的に取り上げ、計画路線としては、

我孫子八十五号線(鳥海内店) 鈴木屋支店
我孫子九号線(我孫子駅) 千代の家(県道)
我孫子八号線(石橋前) 野酒店(千代の家)
我孫子八十八号線(我孫子駅前) 久寺家路(鈴木屋本店) 保線区と交渉中
我孫子五号線(柴谷医院前) 我孫子六十三号線(日立精機通門) 県道

我孫子十一号線(警部補派出所) 杉村文雄宅
の各路線についてそれぞれ措置してございます。

次に、都市計画においては千七百七十七万八千九百円を計上し、社会情勢に対応した都市計画事業の実施を図るため、これが財源として昭和三十六年度から都市計画区域である全地域から都市計画税の課税徴収

父兄の負担軽減を図る

教育 社会 活動の充実期す

教育費 総額は二千四百三十九万九千九百円で、構成歩合は三・四一%となつております。

教育委員会費では五百一十二万二千円を計上し、その大要は委員、職員に要する経費を主とし、他は理科振興費に十六万一千円、産業振興費に三十万円の措置をしましたが、これらは特殊教育とその内容充実を図つたものです。

小学校費では七百二十四万七千七百円を計上し、一般需要的経費については特に意を用い、父兄の負担軽減を目的として措置しました。営繕費としては、各小学校の維持修理に要する経費として百二十二万六千円を計上いたしております。

中学校では六百四十一万四千八百円を計上し、小学校費と同一内容を旨とした経費を措置し、営繕費におい

住民の健康増進を図る

特に伝染病、結核の予防を

保健衛生費 総額は四百九十六万三千四百円、その構成歩合は三・二六%となつております。

内容は、住民の健康維持増進を目的とした諸施策の実施に伴う経費が計上されております。特に伝染病と環境衛生施設に要する経費として計上されているものであります。

をを図る方針であります。計画事業の内容は、新道路整備改訂五年計画事業として、我孫子地区における八坂神社、子の神線のうち八坂神社から公園までは現況舗装、そのさき県道船橋(取手線)までは幅員十二メートルによる舗装、延長千八百三十メートルの道路改良新設工事および東我孫子、柴崎線においては幅員十二メートルの道路新設工事の(実施)を目的とし、昭和三十六年度にこれらの工事に必要な用地買収および(一部)事に着手する予定をもつてその措置をした次第でございます。

奨学資金の貸付を実施

保育事業の充実を図る

社会及び労働施設費 総額は八百四十八万七千七百円、構成歩合は五・五七%となつております。

内容は、社会労働における経済的経費の計上が大半を占めていますが、特に児童福祉費における委託料百八十八万八千八百円を措置し、社会福祉費では経済的困窮者にかかる高校生生徒を対象とした奨学資金制度を設置することを、これに伴う措置と生業資金貸付のために貸付金三十二万二千円を計上してあります。

中小企業の振興育成

農作物 防除を強力に推進

産業経済費 総額は千七百三十二万三千九百円、その構成歩合は七・〇四%となつております。

内容としては、農業委員会費においては二百六十五万八千三百円計上されておりますが、これは委員職員に要する経費が大半で、その他については農業台帳の作成および農業就業構造改善対策費についてもそれぞれ必要とする経費を措置いたしております。

公債費 総額は三百五十九万三千円、構成歩合は二・三六%となつております。

内容としては、各年度において事業実施のために借入れたりました地方債にかかる元金および利子の償還のためにそれぞれ措置したものであります。

納税成績の向上と

広報活動の充実を図る

諸支出金 総額は千二百一十四万四千六百円であり、その構成歩合は七・九四%となつております。

内容としては、徴税費において二百九十四万一千二百円、主たるものは町税の滞納整理強化を図るための経費として六十一万八千五百円、納税組合取扱交付金六十万円を措置いたしております。

昭36年度の町税納期一覽表

納期	税種	納期	税種
4月	固定資産税	1期	都市計画税
5月	健康保険税	1期	町民税
6月	町民税	1期	健康保険税
7月	固定資産税	2期	都市計画税
8月	町民税	2期	健康保険税
10月	町民税	3期	健康保険税
11月	健康保険税	3期	町民税
12月	固定資産税	3期	都市計画税
1月	町民税	4期	健康保険税
2月	健康保険税	4期	町民税
4月	都市計画税	4期	町民税

総額は四十七万七千七百円で、構成歩合は〇・三二%となつております。

内容としては、選挙管理委員会および衆議院議員選挙の経費をそれぞれ措置してございます。

入 歳

都市計画税を新設 固定資産千分の二 町民税など収入が伸張 所得伸張と法人税上昇が原因

次に、歳入予算についてご説明申し上げます。

歳入総予算規模は歳出同様一億五千二百三十八万五千七百円で、前年度に比し三千三百九十九万三千二百円の増となっております。以下その内容の大綱について申し上げます。

町税 総額は一億一千七百二十二万七千九百円で、構成歩合は七六・八六%となっております。

内訳としては、普通税において一億一千二百九十八万三千四百円を計上しております。

内訳としては、町民税において四千八百五十八万三千七百円で、前年度に比し一千八百九十九万八千七百円の増となっております。

この増となるのは、この直接の原因は法人税割の急激な上昇がその主たるもので、他は一般所得割においても所得伸張率が上昇した結果であり、また繰越分については特に新年度において税務体系の陣容強化し、滞納の掃蕩を図る目的をもって繰越額に対し六八%の見込額を計上したものであります。

固定資産税においては四千七百六十四万二千二百円で、前年度に比し八百五十六万二千二百円の増となっておりますが、主たる原因は、本年度固定資産評価基準年度で、特に指示額の引上げによって生じた結果であり、繰越分についても町民税同様徴収確保を図る目的のもとに繰越額に対し六五%の

有利なる数値を採用され、当町においては特別による算定数値の適用を受けた交付税の交付が昭和三十一年度からはこの特別算定の適用が除外されますので、町一本で算定した場合、当町の財政収入額の伸張は、より前年度の実績数値を期待することは不可能でありますので、基準財政需要額を助成して五百万円を計上いたしました。

計上をいたしております。

軽自動車税は百二十四万三千五百円で、前年度に比し四十五万七千五百円の増となっておりますが、主として軽自動車等の普及に伴うものであります。

たばこ消費税は九百二十万円で、前年に比し九十九万円の増であり、たばこ売上高の実績に伴い計上いたしました。

電気ガス税は六百三十万円で、前年に比し二百二十万円の増であり、一般的電気需要の増加に伴うものです。

次に、目的税として都市計画税四百万一千八百円を計上いたしました。

この内容としては、歳出の土木費において申し上げた都市計画事業の実施に伴い、昭和三十六年度において新たに徴収することになっております。

固定資産評価額に対し千分の二のこの乗率をもって課税いたすことになっております。

地方交付税 総額五百萬圓、構成歩合三・二八%で前年に比較し八百萬圓の減となっておりますが、主たる原因は地方交付税の算定に当たり町村合併後五カ年間は町村合併促進法および新市町村建設促進法の定めるところにより算定の特別として、五カ年間町村合併前の各々の町村を単位としてそれぞれ算定する場合と新町一本で算定する場合とを比較し財源不足額に対し個々の団体

の有利なる数値を採用され、当町においては特別による算定数値の適用を受けた交付税の交付が昭和三十一年度からはこの特別算定の適用が除外されますので、町一本で算定した場合、当町の財政収入額の伸張は、より前年度の実績数値を期待することは不可能でありますので、基準財政需要額を助成して五百万円を計上いたしました。

交付金等によるものです。

国庫補助金は一千五百五十万四千四百円で、主たるものは都市計画事業を行なうための補助金八百萬圓を見込むほか、教育費、社会及び労働施設費、失業対策事業費などの補助金としてそれぞれ見込額を計上いたしました。

なお、委託金は二十七万円で、選挙、統計などの委託金について計上しました。

興支出金 総額は二百八十五万六千六百円にして、その構成歩合は一・八七%であり、内容の主たるものは産業経済費各種補助金二百二十万八千九百九十九円、消防費の他の果補助金、保健衛生費各種補助金九十九万一千七百円のほか、消防費その他の果補助金、および負担金、委託金等計上いたしました。

寄附金 総額は六十五万六千円、構成歩合は〇・四三%であり、内容の主たるものは土木費寄附金二十九万、消防費寄附金二十六万五千円です。

繰越金 総額は二百五十万円、構成歩合は二・六四%で、一応昭和三十五年度の繰越金を見込んだものです。

雑収入 総額は七百七十七万四千四百円、その構成歩合は五・二二%で、構成員主たるものは、提出国民年金印紙売払代金三百萬圓、予防接種収入百六十九万二千円のほか、雑収入において中小企業出資者託金収入二百萬圓を措置し、他は一般的な雑収入の見込額を計上しました。

以上、歳入全般にわたりその概要を申し上げましたが、歳入規模は一億五千二百三十八万五千七百円にして歳出と同額で、歳入歳出見合せまして差引残金なしという姿をなしているわけでございます。

の有利なる数値を採用され、当町においては特別による算定数値の適用を受けた交付税の交付が昭和三十一年度からはこの特別算定の適用が除外されますので、町一本で算定した場合、当町の財政収入額の伸張は、より前年度の実績数値を期待することは不可能でありますので、基準財政需要額を助成して五百万円を計上いたしました。

引続

この間、し尿じんかい収集ならびに利用世帯は年々増加の一途をたどり、現在し尿利用世帯数は二千五百世帯、じんかい利用世帯数は九百七十世帯を数えるにいたっております。

この間、し尿じんかい収集ならびに利用世帯は年々増加の一途をたどり、現在し尿利用世帯数は二千五百世帯、じんかい利用世帯数は九百七十世帯を数えるにいたっております。

この間、し尿じんかい収集ならびに利用世帯は年々増加の一途をたどり、現在し尿利用世帯数は二千五百世帯、じんかい利用世帯数は九百七十世帯を数えるにいたっております。

この間、し尿じんかい収集ならびに利用世帯は年々増加の一途をたどり、現在し尿利用世帯数は二千五百世帯、じんかい利用世帯数は九百七十世帯を数えるにいたっております。

この間、し尿じんかい収集ならびに利用世帯は年々増加の一途をたどり、現在し尿利用世帯数は二千五百世帯、じんかい利用世帯数は九百七十世帯を数えるにいたっております。

この間、し尿じんかい収集ならびに利用世帯は年々増加の一途をたどり、現在し尿利用世帯数は二千五百世帯、じんかい利用世帯数は九百七十世帯を数えるにいたっております。

この間、し尿じんかい収集ならびに利用世帯は年々増加の一途をたどり、現在し尿利用世帯数は二千五百世帯、じんかい利用世帯数は九百七十世帯を数えるにいたっております。

この間、し尿じんかい収集ならびに利用世帯は年々増加の一途をたどり、現在し尿利用世帯数は二千五百世帯、じんかい利用世帯数は九百七十世帯を数えるにいたっております。

特別会計

清掃事業特別会計 引続

この間、し尿じんかい収集ならびに利用世帯は年々増加の一途をたどり、現在し尿利用世帯数は二千五百世帯、じんかい利用世帯数は九百七十世帯を数えるにいたっております。

この間、し尿じんかい収集ならびに利用世帯は年々増加の一途をたどり、現在し尿利用世帯数は二千五百世帯、じんかい利用世帯数は九百七十世帯を数えるにいたっております。

この間、し尿じんかい収集ならびに利用世帯は年々増加の一途をたどり、現在し尿利用世帯数は二千五百世帯、じんかい利用世帯数は九百七十世帯を数えるにいたっております。

この間、し尿じんかい収集ならびに利用世帯は年々増加の一途をたどり、現在し尿利用世帯数は二千五百世帯、じんかい利用世帯数は九百七十世帯を数えるにいたっております。

この間、し尿じんかい収集ならびに利用世帯は年々増加の一途をたどり、現在し尿利用世帯数は二千五百世帯、じんかい利用世帯数は九百七十世帯を数えるにいたっております。

この間、し尿じんかい収集ならびに利用世帯は年々増加の一途をたどり、現在し尿利用世帯数は二千五百世帯、じんかい利用世帯数は九百七十世帯を数えるにいたっております。

この間、し尿じんかい収集ならびに利用世帯は年々増加の一途をたどり、現在し尿利用世帯数は二千五百世帯、じんかい利用世帯数は九百七十世帯を数えるにいたっております。

本年度は23棟建設

町営住宅建設特別会計 予算規模は九百六十六万三千三百円で、前年度に比し三十万八千七百円の増となっております。

町営住宅の建設は、昭和二十七年年度以来すでに九カ年度にわたって建設をなし、一種住宅百十棟、二種住宅六十七棟、計百七十七棟が住宅に備わりますが、昭和三十六年度においてもさらに一種住宅十棟、二種住宅十三棟、計二十三棟の建設を予定しており、このため住宅建設費六百九十九万七千二百円を措置いたしてござい

以上、特別会計五件についてその大要を申し上げたのでありますが、特別会計における財政規模の総額は四千九百九十五万六千二百円で、一般会計財政規模一億五千二百三十八万五千七百円にこれを合算しますと、総財政規模は一億九千四百三十四万一千九百円に達し昭和三十年町村合併時に受診率もようやく県下平均に近づきつつあり、住居福祉の観点から、今後における被保険者の利用増加が期待されます。なお、事業の根幹をなす保険料の徴収においても、収納率が向上しつゝあり、他面、保険給付費においては受診率の向上に伴い、前年度に比し三百一十四万六千七百円増となり一千七百三十七万五千円を措置いたしてございます。

以上、特別会計五件についてその大要を申し上げたのでありますが、特別会計における財政規模の総額は四千九百九十五万六千二百円で、一般会計財政規模一億五千二百三十八万五千七百円にこれを合算しますと、総財政規模は一億九千四百三十四万一千九百円に達し昭和三十年町村合併時に受診率もようやく県下平均に近づきつつあり、住居福祉の観点から、今後における被保険者の利用増加が期待されます。なお、事業の根幹をなす保険料の徴収においても、収納率が向上しつゝあり、他面、保険給付費においては受診率の向上に伴い、前年度に比し三百一十四万六千七百円増となり一千七百三十七万五千円を措置いたしてございます。

以上、特別会計五件についてその大要を申し上げたのでありますが、特別会計における財政規模の総額は四千九百九十五万六千二百円で、一般会計財政規模一億五千二百三十八万五千七百円にこれを合算しますと、総財政規模は一億九千四百三十四万一千九百円に達し昭和三十年町村合併時に受診率もようやく県下平均に近づきつつあり、住居福祉の観点から、今後における被保険者の利用増加が期待されます。なお、事業の根幹をなす保険料の徴収においても、収納率が向上しつゝあり、他面、保険給付費においては受診率の向上に伴い、前年度に比し三百一十四万六千七百円増となり一千七百三十七万五千円を措置いたしてございます。

合併時の予算に対し 一二五%の伸張を示す

以上、特別会計五件についてその大要を申し上げたのでありますが、特別会計における財政規模の総額は四千九百九十五万六千二百円で、一般会計財政規模一億五千二百三十八万五千七百円にこれを合算しますと、総財政規模は一億九千四百三十四万一千九百円に達し昭和三十年町村合併時に受診率もようやく県下平均に近づきつつあり、住居福祉の観点から、今後における被保険者の利用増加が期待されます。なお、事業の根幹をなす保険料の徴収においても、収納率が向上しつゝあり、他面、保険給付費においては受診率の向上に伴い、前年度に比し三百一十四万六千七百円増となり一千七百三十七万五千円を措置いたしてございます。

以上、特別会計五件についてその大要を申し上げたのでありますが、特別会計における財政規模の総額は四千九百九十五万六千二百円で、一般会計財政規模一億五千二百三十八万五千七百円にこれを合算しますと、総財政規模は一億九千四百三十四万一千九百円に達し昭和三十年町村合併時に受診率もようやく県下平均に近づきつつあり、住居福祉の観点から、今後における被保険者の利用増加が期待されます。なお、事業の根幹をなす保険料の徴収においても、収納率が向上しつゝあり、他面、保険給付費においては受診率の向上に伴い、前年度に比し三百一十四万六千七百円増となり一千七百三十七万五千円を措置いたしてございます。

以上、特別会計五件についてその大要を申し上げたのでありますが、特別会計における財政規模の総額は四千九百九十五万六千二百円で、一般会計財政規模一億五千二百三十八万五千七百円にこれを合算しますと、総財政規模は一億九千四百三十四万一千九百円に達し昭和三十年町村合併時に受診率もようやく県下平均に近づきつつあり、住居福祉の観点から、今後における被保険者の利用増加が期待されます。なお、事業の根幹をなす保険料の徴収においても、収納率が向上しつゝあり、他面、保険給付費においては受診率の向上に伴い、前年度に比し三百一十四万六千七百円増となり一千七百三十七万五千円を措置いたしてございます。

以上、特別会計五件についてその大要を申し上げたのでありますが、特別会計における財政規模の総額は四千九百九十五万六千二百円で、一般会計財政規模一億五千二百三十八万五千七百円にこれを合算しますと、総財政規模は一億九千四百三十四万一千九百円に達し昭和三十年町村合併時に受診率もようやく県下平均に近づきつつあり、住居福祉の観点から、今後における被保険者の利用増加が期待されます。なお、事業の根幹をなす保険料の徴収においても、収納率が向上しつゝあり、他面、保険給付費においては受診率の向上に伴い、前年度に比し三百一十四万六千七百円増となり一千七百三十七万五千円を措置いたしてございます。

以上、特別会計五件についてその大要を申し上げたのでありますが、特別会計における財政規模の総額は四千九百九十五万六千二百円で、一般会計財政規模一億五千二百三十八万五千七百円にこれを合算しますと、総財政規模は一億九千四百三十四万一千九百円に達し昭和三十年町村合併時に受診率もようやく県下平均に近づきつつあり、住居福祉の観点から、今後における被保険者の利用増加が期待されます。なお、事業の根幹をなす保険料の徴収においても、収納率が向上しつゝあり、他面、保険給付費においては受診率の向上に伴い、前年度に比し三百一十四万六千七百円増となり一千七百三十七万五千円を措置いたしてございます。

古屋簡易水道特別会計

予算規模は十七万四千四百円にして、前年度に比較いたし、前年度に比し二百五十万円の増加となっております。

古屋簡易水道の利用世帯数は、三十五世帯のうち二世帯が火災により焼失いたしましたため、三十三世帯をもって運営いたしておりますが、今後の加入増加が予想されるものであります。予算の内容としましては年間運営に必要な経費を措置いたしたわけでございます。

以上、特別会計五件についてその大要を申し上げたのでありますが、特別会計における財政規模の総額は四千九百九十五万六千二百円で、一般会計財政規模一億五千二百三十八万五千七百円にこれを合算しますと、総財政規模は一億九千四百三十四万一千九百円に達し昭和三十年町村合併時に受診率もようやく県下平均に近づきつつあり、住居福祉の観点から、今後における被保険者の利用増加が期待されます。なお、事業の根幹をなす保険料の徴収においても、収納率が向上しつゝあり、他面、保険給付費においては受診率の向上に伴い、前年度に比し三百一十四万六千七百円増となり一千七百三十七万五千円を措置いたしてございます。

以上、特別会計五件についてその大要を申し上げたのでありますが、特別会計における財政規模の総額は四千九百九十五万六千二百円で、一般会計財政規模一億五千二百三十八万五千七百円にこれを合算しますと、総財政規模は一億九千四百三十四万一千九百円に達し昭和三十年町村合併時に受診率もようやく県下平均に近づきつつあり、住居福祉の観点から、今後における被保険者の利用増加が期待されます。なお、事業の根幹をなす保険料の徴収においても、収納率が向上しつゝあり、他面、保険給付費においては受診率の向上に伴い、前年度に比し三百一十四万六千七百円増となり一千七百三十七万五千円を措置いたしてございます。

以上、特別会計五件についてその大要を申し上げたのでありますが、特別会計における財政規模の総額は四千九百九十五万六千二百円で、一般会計財政規模一億五千二百三十八万五千七百円にこれを合算しますと、総財政規模は一億九千四百三十四万一千九百円に達し昭和三十年町村合併時に受診率もようやく県下平均に近づきつつあり、住居福祉の観点から、今後における被保険者の利用増加が期待されます。なお、事業の根幹をなす保険料の徴収においても、収納率が向上しつゝあり、他面、保険給付費においては受診率の向上に伴い、前年度に比し三百一十四万六千七百円増となり一千七百三十七万五千円を措置いたしてございます。

町の人口 (昭和36年2月28日現在)

男	13,593人	(前年比2人増)
女	14,124人	(" 18人増)
計	27,717人	(" 20人増)
世帯数	5,710	(" 5世帯増)

2月の人口動態

	(男)	(女)	(計)
出生	22人	24人	46人
死亡	11人	8人	19人
転入	68人	57人	125人
転出	77人	55人	132人

生活改善クラブを つくりましょ

①

三月十日、十一日の両日 農電研究所に東葛飾市生活改善クラブのリーダーが集まり、熱心に生活改善計画を討議しました。

生活改善クラブとはどんなものか、千葉県農業技術課の資料を中心に説明いたしますと、「生活をよくするために、生活をよくする」ことなのですが、勉強の心がまえは、

勉強の中味は生活に役立つものを出発点とする。

勉強の出発点は今のありのままをみつめてそこを出発点とする。

勉強の足りないものをばっちり認め、なぜ足りないのか、なぜ足りないのかを知って、ではどうすれば今より少しはよくなるかという解決方法を考えて実行して行くのだけれど、生活と結びつかなくなってしまう。

勉強は一日二十四時間のなかで、私たちの勉強は、勉強の

町における現金出納事務の迅速かつ正確を期するため金庫制度を採用し、専門の業務者である銀行と契約して現金出納事務の委託を行ない、住民の

金庫制度を採用

4月から 利便とその信頼を確保しようとして、第一回定期協議会に「金庫の設置および金庫事務取扱機関の指定」を提案いたしました。

なごりありますが、野良仕事をもつ農家の皆さんの勉強法で、(3)の方法が一番よい方法でしょう。それは

①みんなが問題を持ち寄って勉強すれば、人のよいところを聞いて自分の足りないところを補うことができ、短時間で効果をあげることができ。

②何人も人のいろいろな勉強を、一時に知ることができ。

③一つのことをみんなで考えるので、一人で考えるより、一人のみの勉強が、そのために、みんなの前進が、一歩一歩しっかりと進んでいく。

④一人か同じ目的の人が集まると、早く進める。

⑤集まって勉強することの喜びを味わうことができる。こういって、私たちの暮らしをよくする。勉強法として、(3)を選び、その集まりを「生活改善クラブ」と呼んでいきます。

皆さんが実際に計画して生活改善を行なってゆくためには、どのような運営をしていったらよいか、どんな目標を立てたらよいか、という点については次号で述べますが、生活改善の集まりをつくらせて、よりよい明るい町にしましょう。

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

植林で示せわれらの郷土愛

緑の羽根募金が始まりました。

春の訪れとともに、ことごとく緑の羽根募金が始まりました。

今より少しはよくなるかという解決方法を考えて実行して行くのだけれど、生活と結びつかなくなってしまう。

勉強は一日二十四時間のなかで、私たちの勉強は、勉強の

町における現金出納事務の迅速かつ正確を期するため金庫制度を採用し、専門の業務者である銀行と契約して現金出納事務の委託を行ない、住民の

勉強の出発点は今のありのままをみつめてそこを出発点とする。

勉強の中味は生活に役立つものを出発点とする。

勉強の出発点は今のありのままをみつめてそこを出発点とする。

勉強の中味は生活に役立つものを出発点とする。

勉強の出発点は今のありのままをみつめてそこを出発点とする。

勉強の中味は生活に役立つものを出発点とする。

布佐小児童会に感謝状

布佐小児童会の五、六年生のよい子たちは、自分たちでできるもので社会や郷土のためにすることは、ないかと相談した結果、菓箱を作り野鳥の繁殖を助けて農作物の害を防ぐことになり、工作の時間に二個の菓箱を作った。

六月二十日の卒業式に東葛飾農林改良事務所長から感謝状が贈呈されました。

他の小中学校の皆さんも、菓箱を作って野鳥を保護し、町全体を野鳥の楽園にしましょう。

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

国民金融公庫を利用できる

養鶏、養豚、酪農を現在行なっている農家で、その運転資金または設備資金の融資を受けられます。

返済方法は、月賦その他。設備資金の場合は、若干のすえ置きが認められることもあります。

保証人、一名以上。ただし、担保を提供される場合は、原則として必要とされません。

以上の点とおりでありますが、ご申込み書など必要のさいは、産業課へご相談ください。

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

乳幼児の種痘と健康診断

乳幼児の種痘と健康診断を次のとおり行ないます。次から、該当者はもちろんお受けになります。

種痘該当者：昭和34年11月1日から昭和35年10月31日までの出生児。種痘該当者は健康診断も受けることになります。

健康診断該当者：昭和34年11月1日以降の出生児。このほかの方で希望者がありましたら、ご遠慮なくお出かけください。

料金：種痘接種1名15円。健康診断は無料です。

通知：該当者は個人通知票をさしあげてあります。通知票をさしあげていない方は、お知らせいたします。

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

各種苗木の即売

千葉県緑化推進委員会の主催により、次のとおり各種苗木の即売をいたします。

とき：4月4日から4月7日まで4日間。

ところ：我孫子駅前十字路八坂神社。

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

町民税の申告は4月15日まで

昭和36年度35年分所得、町民税申告書の提出期限は4月15日です。

申告書は提出しなればならない人は、次の方々です。

◆昭和35年1月1日現在、町内に住んでいた方は、所得のあるなしにかかわらず申告してください。

◆昭和35年中に所得のあった方(農業、営業、給与、不動産の各所得者)。

◆申告書は町民税、県民税を課税する大切な書類です。申告書は、必ず正しい申告をしてください。

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～

～～～